

東海大学新聞掲載記事 (2021.2.1号)

【男子サッカー部】20年ぶりの頂点に輝く

関東1部の強豪を次々撃破

湘南校舎の男子サッカー一部が1月6日から23日まで、東京・味の素フィールド西が丘などで開かれた特例の全国大会「#atarimaeni CUP サッカーができる当たり前に、ありがとう!」で優勝を飾った。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった夏の総理大臣杯全日本大学トーナメント、冬の全日本大学選手権大会の代替大会で、32チームが優勝を争った今大会。関東大学リーグ戦の下部にあたる神奈川県大学リーグに所属する男子サッカー一部は、昨年9月から11月の「アミノバイタルカップ2020 関東大学トーナメント大会」で5位となり、関東地区第9代表として出場した。初戦で鹿屋体育大学に3-1で勝利すると、2回戦では今年度の関東1部を制した明治大学をPK戦の末に下し、日本大学、順天堂大学との試合も1点差で逃げ切った。法政大学との決勝は、前半から自陣での攻防が続いたものの、堅い守備で得点を許さず。今川正浩監督(体育学部准教授)の、「今までのゲームを思い出して、アグレッシブにボールに向かっていこう」という声に応えるように、後半は次々と前線にボールを送り込み流れを引き戻すと、72分に水越陽也選手(体育学部3年)がこぼれ球を押し込み先制。1-0で2000年の総理大臣杯以来20年ぶり、都道府県リーグ所属チーム初の全国大会優勝を手にした。米澤哲哉主将(同4年)は、「勝つたびに成長し、自分たちのプレーに自信を持つことができました。これまで積み上げてきたものが実った優勝」と喜んだ。

25日には、湘南校舎で今川監督らが山田清志学長に優勝を報告。熱戦を振り返った。

なお、札幌校舎男子部は1回戦で静岡産業大学に0-1で敗れた。

ルーキー石原選手が区間賞

【陸上競技部駅伝チーム】箱根駅伝総合5位

陸上競技部駅伝チームが1月2、3日に開催された東京箱根間往復大学駅伝競走(東京・大手町～箱根・芦ノ湖間/10区間217.1キロ)に出場。往路5位、復路10位の総合5位で、次大会へのシード権を獲得した。

往路では1区塩澤稀夕駅伝主将(体育学部4年)と2区の名取燎太選手(同)が好走し、総合3位で3区の石原翔太郎選手(同1年)にタスキをつなぐ。石原選手は初めての箱根路ながら積極的な走りを見せ、12キロ過ぎでチームを首位に押し上げる快走を見せた。日本人ルーキー歴代2位となる1時間2分5秒で区間賞を獲得し、「新型コロナウイルス感染症が拡大する中でも走れることに感謝の思いを持ってスタートラインに立った。満足のいく走りできてよかった」と笑顔を見せた。

その後、順位を落とし総合5位で迎えた復路では、6区の川上勇士選手(同2年)が、5キロ手前で総合4位に浮上。区間5位の力走で東洋大学も抜いてチームを総合3位へと押し上げた。8区と9区で一つずつ順位を落とし、最後は総合5位となったが、塩澤主将は、「総合優勝に手が届かなかったが、10区間中7区間は初出場の選手。後輩にはこの経験を来季につなげてほしい」と話した。

来季の駅伝主将には今大会7区を走った本間敬大選手(同3年)が就任する。「現1、2年生に力のある選手が多いので、これまでの先輩方が築いてきた伝統をしっかりつないでいきたい」と目標を語った。

(裏面へ続く)

新エースとしての期待がかかる石原選手は、1月24日にShonan BMW スタジアム平塚で開催された東海大学長距離競技会1万メートルで28分44秒05の自己ベストをマーク。寒さと強風で厳しいコンディションの中でも好記録をマークし、来季のさらなる飛躍を予感させた。

両角速駅伝監督(体育学部教授)は、「総合優勝には手が届かなかったが、チームの底上げはできている。地道なトレーニングの中で速さと強さを求めている」と話していた。

マイコンコンテストで最優秀賞

【湘南】土木工学科の学生

工学部土木工学科4年の荒木哲也さんと高橋岳さんのグループが、昨年12月10日に開催された「第1回ナノコン応用コンテスト」(主催=モバイルコンピューティング推進コンソーシアム技術委員会ナノコン応用推進ワーキンググループなど)で最優秀賞を受賞した。コンテストは、小型軽量で組み立てが簡単なIoTデバイスやナノコンを使った技術やアイデアを競うもの。全国から8チームがノミネートし、作品説明資料と説明動画によって審査された。

荒木さんたちは、マイコンデバイスを使って地盤沈下によって生じる住宅の傾きをリアルタイムで計測し、記録できるセンサを開発。軟弱地盤上や斜面を整地した場所に住宅を建てた際に、建物自体の重みで地盤が沈み、施主と業者の間で係争になるケースがあるといった開発の背景をはじめ、試験装置を使った実証実験や生活環境に置いての試験の結果を発表した。

学生たちは、「マイクロコンピュータやプログラミングなど初めて学ぶことも多く、『完成させられないのでは』と思うことも何度もありました。まさに商品開発の疑似体験のような日々だったと感じています。土木工学の分野でもIoTの活用が進んでいるため、今回の経験は社会人になってからもきっと生きてくると期待しています」と語っている。

東海大学ネットをご活用ください

・MicrosoftOffice365システムによる生涯メールアドレスの利用

(tokai-u.jpのドメイン) 詳細は以下URLをご覧ください。

<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/service/net.html>

インターネットホームページについて

URL : <http://www.kouyu.tokai.ac.jp/> (校友会)

<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)

<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

校友会・後援会・同窓会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお願いいたします。

東海大学校友会(校友会・白鷗会・同窓会)事務局

学校法人東海大学理事長室学園校友課

〒151-8677 渋谷区富ヶ谷 2-28-4 TEL 03-3467-2211 (代表)

E-mail koyukai@tokai.ac.jp

東海大学事務部事務課(後援会担当)

〒259-1252 平塚市北金目 4-1-1 TEL 0463-58-1211 (代表)

E-Mail koyu@tsc.u-tokai.ac.jp